

# ふくしま歴史資料保存ネットワーク

2011年の東日本大震災・福島第一原発事故、2019年の東日本台風、2021・2022年の福島県沖地震と、頻発する大規模災害により、歴史資料が散逸・消滅の危機にさらされています。今年もふくしま史料ネットは県内各地で歴史資料保全活動に取り組んでいます。

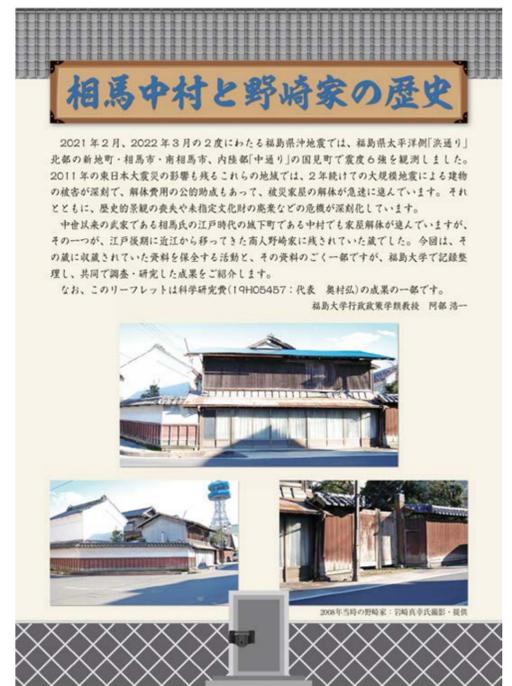
## 福島市内の旧家で資料レスキューと記録整理に取り組んでいます

福島県内でも最も古いとされる旧家の建物が国登録有形文化財に指定されました。所蔵者は活用の一環として、一部資料を展示した資料館づくりを進めています。ただ、未整理の古文書類が大量にあるため、当ネットでは蔵から資料を搬出し、少しずつ整理を進めています。大量の襖の下張りについては、一部を福島大学に運び、夏恒例の集中作業にて文書はがしと整理を行いました。



## そうまネットと連携して救出資料の調査・研究を続けています

2023年3月にレスキューした野崎家資料の一部を福島大学でも活用し、学生たちと記録整理したうえで、資料紹介を中心とした現地報告会を行っています。その成果は2024年度のそうまネットシンポジウムでも報告されました。



作成したリーフレット